

鶉澤 茉莉子  
〔原方〕



晴れやかに成人式を迎えられたこと、久しく会わなかった先生方や友人たちに再会できたことを大変嬉しく思います。

今までを振り返って、私たちはこの町で育ちたくさんの人に出会いました。今日まで育ててくれた家族、優しく時に厳しくご指導してくださった先生方、温かく見守ってくださった地域の方々、そして共に励まし合った友人。全てかけがえない存在です。これらの出会いのうち一つでも欠けていたら、今の自分はない

かったかも知れません。今まで支えてくれた多くの人に対して、感謝の念でいっぱいです。また、すばらしい人々に出会えるようなこの良い環境で育ってきたことを誇りに思います。受けた恩を決して忘れずに、2倍、3倍にして、私たちの周りの人や社会に対して返していきたいです。

今日、世の中は目まぐるしく変化を続けています。その中で私たちはどのような夢や希望を持ち、どのような道を信じて歩んでいくのか。成人

としての第一歩を踏み出すにあたり、今日という日はそれを考える良い機会であると思います。私たちは今、各自が社会の重要な一員である自覚をしなければなりません。成人になると、選挙に参加することができるようになったり、年金や税金を納める義務を負ったりします。自分の意思を持ち、権利を行使し義務を果たさなければなりません。また、現在、国内外を問わず様々な問題が起こっています。外交問題、憲法改正、少子高齢化、

唐待など例を挙げればきりがありません。視野を大きく持ち、社会にしっかりと目を向け、自分でできることが何であるかを考え、行動に移していきたいと思えます。

人生には、この先多くの困難があるでしょう。しかし、いかなる困難にぶつかろうとも、私たちはお互いに助け合い乗り越えていくことができます。今日のこの感激を私たちの人生に活かし、人と社会とを思いやり精一杯生きていくことを決意します。

私たちが社会の中心として活躍できるようになったとき、何事においても良いところは引き継ぎ、さらに伸ばし、改善すべきところは徹底的に改善できるように、自分と社会を、今を、しっかりと見つめていきたいと思えます。また、成人として恥ずかしくないような言動を心掛け、夢を持ち、一度きりの人生を精いっぱい生きていきます。

# 誓いのことば

椎名 真大  
〔栗山〕



この式典に参加することで、成人になった喜びとその責任の重みを実感することができました。

その責任の中でも最も重いものの一つとして、選挙権が挙げられます。振り返ってみますと、これまでは選挙があっても、どこか他人事のように感じていた節があった気がいたします。しかし、これからは自らの投じる一票が、自らの住む社会のあり方を決める

のだと信じ、この貴重な権利を大切に行使していきたいと思えます。

また、そのためにも私たちは、社会を思いやり、「これからは自分たちが社会を担うのだ。」という気概を持つ必要があるかと思えます。今はまだ、多くの方々に守られて暮らしており、むしろ社会に担われている者が大半かと思えます。守られたままでいたという気持ちもないわけで

はありません。しかし、徐々に自立をし、社会を担うために、今から甘えた感情を捨て、社会を思いやる気持ちを育んでいきたいと思えます。自分を育ててくれた家族や町や国のために、自分は何ができるのか。何をすべきなのか。そういうことを心のどこかで思い、実践し、責任をとれることが、社会を担うということではないかと考えているからです。

私たちが社会の中心として活躍できるようになったとき、何事においても良いところは引き継ぎ、さらに伸ばし、改善すべきところは徹底的に改善できるように、自分と社会を、今を、しっかりと見つめていきたいと思えます。また、成人として恥ずかしくないような言動を心掛け、夢を持ち、一度きりの人生を精いっぱい生きていきます。